

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成30年
3月20日 行
発 第240号

発行所

日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門1-16-11 茶乃木ビル5F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 内海和彦

第五十七回定期全国大会開催

要求獲得に向け力強い前進を

二月十八日から二十日の三日間、東京都千代田区「お茶の水ホテル」において、全国より代議員及びオブザーバー等九十八名の参加のもと、第五十七回定期全国大会が開催された。

会議では、平成三十年運動方針案や要求書案、予算案等について慎重な審議が行われ、新執行部体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く前進していくことを確認した。

初日の十八日は、開会では要求額定昇込み三%、千二百円改正され、この後、出席者全員に一万二千円に届かないもの。諸手当においては、医師確保調整手当の定額分に行われ、資格審査・成立確心に千円程度の引上げ、そついで、支給月額の限度を認を経て大会役員及び議長の他については四百円程度、田憲司氏(名二日赤)、副給表そのものは平均〇・二%の引上げで、今回の改定七、書記に山田堅二氏(那は平均〇・二三%、一人当り)は平均〇・二三%、一人当り六

次いで、山本中央執行委たり八百五十七円の引上げが、結果は四年連続の賃上げ交渉となり、一人当たり六

日本赤十字社の決算報告について平成二十八年度は大変厳しい状況となっており、医療施設特別会計については、百八十八億円の赤字決算、会計単位では九十施設中六十一施設は赤字決算、二十九施設は赤字決算となつていますが、医療事業推進本部は、平成三十一年度までの三か年で経常収支が赤字医療施設全体で赤字になることを目標としております。また、血液事業特別会計については、平成二十七年に比べ四十二億円の回復し、二十五億円の赤字決算となつております。医療事業については、平成二十九年でも大変厳しい状況と思われ、医療施設においては、さらに経



営が大変厳しい状況になつてくることは明らかです。我々連合体は、引き続き諸先輩方が築き上げた「労使協調・良識ある組合活動」の基本路線を受け継ぎ、常に時代の変化を見据えながら問題に的確に対応していかねばなりません。また、今後もより一層組織の活性化を図り、諸要求を運動に反映させるために、「統一と団結の力」を最大限発揮し、組織の拡大と組合運動の強化を共通の認識とし、更なる躍進を続けていく決意のもと、活力あふれる魅力ある組織を築き上げていかねばならぬと考えています。組合は組織力であり、組合員の皆様が築き上げるものと思つております。

そのためには、組合員皆様の力を借り、組合活動の推進を図ります。平成三十一年度までの三か年で経常収支が赤字医療施設全体で赤字になることを目標としております。また、血液事業特別会計については、平成二十七年に比べ四十二億円の回復し、二十五億円の赤字決算となつております。医療事業については、平成二十九年でも大変厳しい状況と思われ、医療施設においては、さらに経



に、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念します。」と述べた。

その後、報告事項に入り、各部報告として組織・教宣・調査の各部長より一年間の活動報告が行われ、内海中央書記長から報告資料にそつて一般経過報告がなされた。

続いて、単組活動報告においては、各単組代表者から、資料に基づいて補足説明を加えながら施設交渉やレク活動等の報告が行われ、質疑応答の後、賛成多数で承認された。

大会二日目は、安井中央

基本賃金の引上げ 三・〇%に決定

報告事項

- 一、各部報告
- 二、一般経過報告
- 三、会計収支決算報告
- 四、会計監査報告
- 五、単組活動報告

審議事項

- 一、平成三十年運動方針案について
- 二、要求書案について
- 三、スローガン及び闘争方針案について
- 四、予算案について
- 五、本部役員について
- 六、その他

大会宣言

日本赤十字新労働組合連合会は、第五十七回定期全国大会を、「学生の街」学びの町こと、東京都千代田区「お茶の水ホテル」において盛大に開催した。私たちは平成三十年運動方針として、

- 実質賃金の獲得と豊かでゆとりある生活の実現
- 労働時間短縮と完全週休二日制の実施
- 教宣活動の強化と組織の団結及び活性化
- 勤務評定の完全実施と人

以上の六項目をスローガンに掲げ、年々厳しさを増す医療環境の中、日赤新労の理念のもと、力強く前進することを誓い大会宣言とします。

嘉麻赤十字病院職員組合
柳瀬 紗雅奈



平成三十年度
全国会議開催予定

- 第一回中央委員会 五月十三日～十四日
- 単組新任役員研修会 六月二十三日～二十四日
- 病院看護部会 七月十四日
- 第二回中央委員会 九月九日～十日
- 血液センター部会 十月下旬
- 第三回中央委員会 十二月八日～九日
- 第五十八回定期全国大会 平成三十一年 二月十七日～十九日

— 第1回中央委員会 —
平成30年5月13日(日)～14日(月)
東京都港区芝浦1-3-10
「チサンホテル浜松町」



日赤新労における闘争のあり方について質疑が行われた後、原案と決定された。

前年度予算執行状況等を踏まえた提案があり、組織費及び中央委員会費の内訳、会計ソフトを本部事務所に導入することの説明がなされたのち、原案と決定された。

本部役員について(新役員は裏面に掲載)

○病院看護部会の日程について 十月下旬を予定

○今後の会議・大会等日程について

中央執行委員、定期全国大会共に現状のまま

○新労ホームページのパスワードについて 三月二日に変更「連絡一七八三三」

○血液センター部会の日程について 十月下旬を予定

○病院看護部会の日程について 七月第二土曜日を予定

平成30年度本部役員

中央執行委員長 山本 俊一 (鳥取日赤)
 中央副執行委員長 佐久間直紀 (千葉血七)
 中央副執行委員長 伊藤 高敬 (東海北陸BBCC)
 中央書記長 内海 和彦 (石巻日赤)
 中央会計 黒田 優 (山形血七)



中央執行委員 水崎 江利 (浜松日赤)

中央執行委員 永岡 弘道 (名一日赤)

中央執行委員 江里 陽介 (岡山日赤)

会計監査 西 留美 (今津日赤)

会計監査 大橋 宏彰 (大津日赤)



就任にあたって

中央執行委員長 山本俊一



この度、第五十七回定期全国大会にて中央執行委員長に承認をいただきましてありがとうございます。

当組合は、平成二十二年からは筆頭組合となり、名実共に日赤における労働者の代表となっております。我々連合体は、従来にも増して発言力・影響力が高まることは疑いなく、引き続き諸先輩方々が築き上げた「労使協調・良識ある組合活動」の基本路線を受け継ぎ、常に時代の変化を見据えながら問題に的確に対応していかねばなりません。

平成二十九年度も大変厳しい状況と恐れられ、今後、経営は大変厳しい状況になってくることは明らかです。当連合体の平成三十年度賃金要求は、定期大会にて決定され、定期大会終了後から、本年度の春闘が始まります。過去三年連続でベリーストップを勝ち取ってまいりましたが、平成二十九年度も金交渉において、実施時期が例年に無い妥結結果となりました。今後、大変厳しい状況は否めないと思っております。また、諸要求項目に

退任挨拶

中央執行委員長 小室 勝彦 (秦野赤十字病院)

え、二年目で全体が分るようになりまして。同じ志の本部役員、本部事務局の温かいサポートにより、その活動の幅は広がり全国の組合員とも交流し多くの考えを聞き学ばせていただきました。いつしか活動の大変さは感じなくなり、達成した時の喜びとなりました。幾つもの課題から、勝ち取ったものは決して多くはありませんが、諦めないで粘り強く交渉をしていく事も実感しました。

新任挨拶

中央執行委員 水崎 江利

この度、平成三十年度中央執行委員に選出されました。濱松赤十字病院の水崎江利です。

看護師になったのもまた十数年超えただけ、組合員として単組から中央の会議に出てまだ五年たったばかりの私に何が出来るのか、今回頂いた大役が本当に務まるのかと不安でいっぱいですが、責任の重さにつぶされてしまおうです。そのうへ、濱松からはここ数年中央へ行った方がいなくて身近に相談できる人がいません。ただ、平成二十七年・二十八年と病院看護部会のブロック代表を務めさせていただいたたなかで、単組が違う回りの方々に

に幾度となく助けられ何とか二年間つづがなく務めさせて頂くことが出来ました。そのような協力が得られないと考えると、これからは皆様も助けていただきながら何とか務めさせて頂きたいと思っております。

ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞお力をお貸し下さい。よろしくお願致します。

中央執行委員 永岡 弘道

本年度も新執行部の体制で船が動き出しました。本年度も乗組員(執行役員)を選任するにあたり、選挙管理委員の皆様にはご尽力を賜り、何とか船をこぎだすに至っています。私は今回の執行役員就任が三回目であり、今回強く思うことは、まずは執行役員としての環境整備に着目していきたいと考えています。

中央執行委員 江里 陽介

この度、中央執行委員に任命されました岡山赤十字病院の江里陽介です。普段は事務職員として働いており、今までに会計課、医事課(自賠責担当・内科受付)



最後に、今まで各単組の執行部の皆様には大変お世話になりました。また、出身ブロックの五ブロックの皆様には今まで支えていただきました。ありがとうございます。

最後に、今更なる経験のない病院看護部会・代表委員会・第二回中央委員会と意見集約会・看護労使協議会に参加させていただきました。今年度看護部会で話し合われていたテーマ(長日勤について・有給休暇取得について・看護師の俸給表について・看護助手業務について)に

二年という短い期間ではありましたが、中央会計を任せさせていただき、本部長としての責任の重さと本部活動をどのように行っていくべきか、良いのか分からず戸惑って

最後に私は執行部を退きました。山本執行委員長をはじめ執行部の諸先輩の指導を受けながら、徐々に仕事を任せていただき、大変だと思ふ事もありましたが、やりがいがあるとも感じられる二年間でありました。特に、本社交渉時においては、日赤新労の要求事項に対して本社と直接協議を行うという経験が、出来たことは、単組時代から組合活動を続けてきた大きな経験だったと感じています。

第三ブロックの諸事情により、平成二十九年度中央執行委員を担当させていたいただきました。平成二十九年度は、女性部副部長として

来年度からは、フロアから中央委員会・定期大会を盛り上げてゆきたいと考えております。大変お世話になりました。今後ともよろしくお願致します。